



平成 28 年 3 月期 第 3 四半期決算短信 [日本基準] (連結)

平成 28 年 2 月 5 日

上場会社名 日精樹脂工業株式会社 上場取引所 東・名  
 コード番号 6293 URL <http://www.nisseijushi.co.jp>  
 代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 依田 穂積  
 問合せ先責任者 (役職名) 専務取締役 (氏名) 荻原 英俊 TEL 0268-82-3000  
 四半期報告書提出予定日 平成 28 年 2 月 12 日  
 配当支払開始予定日 —  
 四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無  
 四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 平成 28 年 3 月期第 3 四半期の連結業績 (平成 27 年 4 月 1 日～平成 27 年 12 月 31 日)

(1) 連結経営成績 (累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
28 年 3 月期第 3 四半期	29,205	9.8	2,382	23.4	2,192	△26.3	1,572	△39.2
27 年 3 月期第 3 四半期	26,608	19.1	1,930	39.5	2,976	42.3	2,587	46.5

(注) 包括利益 28 年 3 月期第 3 四半期 1,327 百万円 (△59.8%) 27 年 3 月期第 3 四半期 3,305 百万円 (52.4%)

	1 株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1 株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
28 年 3 月期第 3 四半期	78.77	77.95
27 年 3 月期第 3 四半期	129.81	128.66

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
28 年 3 月期第 3 四半期	48,187	28,923	59.8
27 年 3 月期	48,668	27,991	57.4

(参考) 自己資本 28 年 3 月期第 3 四半期 28,824 百万円 27 年 3 月期 27,916 百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第 1 四半期末	第 2 四半期末	第 3 四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
27 年 3 月期	—	5.00	—	13.00	18.00
28 年 3 月期	—	8.00	—	—	—
28 年 3 月期 (予想)	—	—	—	10.00	18.00

(注) 直前に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 平成 28 年 3 月期の連結業績予想 (平成 27 年 4 月 1 日～平成 28 年 3 月 31 日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益		1 株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通 期	37,500	3.4	2,450	7.0	2,450	△25.4	1,950	△28.4	97.70

(注) 直前に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

※注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動（連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動）：無  
新規 — 社（社名）、 除外 — 社（社名）

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 有
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数（普通株式）

① 期末発行済株式数（自己株式を含む）	28年3月期3Q	22,272,000株	27年3月期	22,272,000株
② 期末自己株式数	28年3月期3Q	2,313,175株	27年3月期	2,313,175株
③ 期中平均株式数（四半期累計）	28年3月期3Q	19,958,825株	27年3月期3Q	19,936,579株

※ 四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続の対象外であり、この四半期決算短信の開示時点において、四半期連結財務諸表に対する四半期レビュー手続が実施中であります。

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する主旨のものではありません。また実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、添付書類3ページ「1. 当四半期決算に関する定性的情報（3）連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

## ○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報 .....	2
(1) 経営成績に関する説明 .....	2
(2) 財政状態に関する説明 .....	2
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明 .....	3
2. サマリー情報（注記事項）に関する事項 .....	3
(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動 .....	3
(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 .....	3
(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示 .....	3
3. 四半期連結財務諸表 .....	4
(1) 四半期連結貸借対照表 .....	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書 .....	6
四半期連結損益計算書	
第3四半期連結累計期間 .....	6
四半期連結包括利益計算書	
第3四半期連結累計期間 .....	7
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項 .....	8
(継続企業の前提に関する注記) .....	8
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記) .....	8
(セグメント情報等) .....	8

## 1. 当四半期決算に関する定性的情報

## (1) 経営成績に関する説明

当第3四半期連結累計期間におけるわが国経済は、円安の継続や政府の経済政策等の効果により緩やかな回復基調にありましたが、中国経済の減速や原油価格の下落進行等による世界経済の成長鈍化の懸念から先行きは不透明な状況であります。

当社グループの属する射出成形機業界におきましては、国内および米国を中心に需要が堅調に推移いたしました。東南アジア等では設備投資需要が低調に推移いたしました。

このような状況の中、当第3四半期連結累計期間の業績につきましては、主力である射出成形機売上が国内およびアメリカ地域を中心に堅調に推移したこと等から売上高合計は292億5百万円（前年同四半期比9.8%増）となりました。製品別売上高につきましては、射出成形機売上が225億8千4百万円（前年同四半期比13.5%増）、部品売上が39億2千万円（同3.9%増）、金型等の売上が8億6千1百万円（同11.8%増）と増加しましたが、周辺機器売上高は、18億3千8百万円（同15.2%減）となりました。

利益面につきましては、射出成形機の売上が伸長したこと等から営業利益23億8千2百万円（前年同四半期比23.4%増）となりました。一方で、やや円高が進行し、為替差損3億3千3百万円を計上したこと等により、経常利益は21億9千2百万円（前年同四半期比26.3%減）となり、これらの結果、親会社株主に帰属する四半期純利益は15億7千2百万円（同39.2%減）となりました。

セグメントの状況は以下のとおりです。

## ① 日本

自動車関連からの需要が堅調に推移したこと等から売上高（外部売上高）は141億8千3百万円（前年同四半期比1.9%増）となり、セグメント利益は19億8百万円（同19.9%増）となりました。

## ② アメリカ地域

自動車関連および医療容器関連を中心に需要が好調だったこと等から売上高（外部売上高）は72億5千5百万円（前年同四半期比16.5%増）となり、セグメント利益は5億8千万円（同47.7%増）となりました。

## ③ アジア地域

東南アジア地域で需要の停滞が継続しましたが、東アジア地域でIT関連等の需要が堅調に推移したこと等から売上高（外部売上高）は77億6千7百万円（前年同四半期比20.2%増）となりました。一方で価格競争の激化や営業費用の増加等から、セグメント利益は1億2千万円（同17.8%減）となりました。

## (2) 財政状態に関する説明

当第3四半期連結会計期間末の資産合計は、前連結会計年度末に比べ4億8千万円減少し、481億8千7百万円となりました。主たる増加要因は、現金及び預金の増加6億5千4百万円および商品及び製品の増加3億4千6百万円であり、主たる減少要因は、未収入金の減少3億5千3百万円および仕掛品の減少1億8千6百万円ならびに受取手形及び売掛金の減少1億3千5百万円であります。

負債合計は、前連結会計年度末に比べ14億1千2百万円減少し、192億6千3百万円となりました。主たる減少要因は長期借入金の減少5億5千5百万円および支払手形及び買掛金の減少2億3千4百万円であります。

純資産合計は、前連結会計年度末と比べ9億3千1百万円増加し、289億2千3百万円となりました。主たる増加要因は利益剰余金の増加11億5千3百万円であります。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

当期の業績につきましては、本資料の開示時点において、平成27年5月8日に公表された各予想値を修正しておりません。

今後、受注状況や環境要因の変化等を勘案し、業績予想の修正が必要と判断される場合には、可及的速やかに開示することといたします。

2. サマリー情報（注記事項）に関する事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動

特定子会社につきましては、当該事項はありません。

なお、特定子会社以外の子会社の異動につきましては、以下のとおりであります。

（アジア地域）

中国における販売体制を再編・強化するために設立した「日精樹脂工業科技（太倉）有限公司」を第1四半期連結累計期間において当社の連結子会社としております。

この結果、平成27年12月31日現在では、当社グループ（当社及び当社の子会社）は、当社、連結子会社13社及び非連結子会社5社により構成されております。

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用

該当事項はありません。

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

（会計方針の変更）

「企業結合に関する会計基準」（企業会計基準第21号 平成25年9月13日。以下「企業結合会計基準」という。）、「連結財務諸表に関する会計基準」（企業会計基準第22号 平成25年9月13日。以下「連結会計基準」という。及び「事業分離等に関する会計基準」（企業会計基準第7号 平成25年9月13日。以下「事業分離等会計基準」という。）等を第1四半期連結会計期間から適用し、支配が継続している場合の子会社に対する当社の「持分変動による差額を資本剰余金として計上するとともに、取得関連費用を発生した連結会計年度の費用として計上する方法に変更しております。加えて、四半期純利益等の表示の変更を行っております。当該表示の変更を反映させるため、前第3四半期連結累計期間及び前連結会計年度については、四半期財務諸表及び連結財務諸表の組替えを行っております。

企業結合会計基準等の適用については、企業結合会計基準第58－2項（4）、連結会計基準第44－5項（4）及び事業分離等会計基準等第57－4項（4）に定める経過的な取扱いに従っており、第1四半期連結会計期間の期首時点から将来にわたって適用しております。

これらによる損益に与える影響はありません。

## 3. 四半期連結財務諸表

## (1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (平成27年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (平成27年12月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	7,758	8,413
受取手形及び売掛金	11,149	11,014
商品及び製品	7,189	7,535
仕掛品	3,363	3,176
原材料及び貯蔵品	3,850	4,011
未収入金	2,741	2,387
その他	1,169	1,005
貸倒引当金	△173	△475
流動資産合計	37,048	37,068
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物(純額)	3,204	3,062
機械装置及び運搬具(純額)	1,366	1,179
土地	4,483	4,474
その他	309	386
有形固定資産合計	9,363	9,102
無形固定資産	350	371
投資その他の資産		
投資有価証券	1,555	1,373
その他	365	283
貸倒引当金	△15	△13
投資その他の資産合計	1,905	1,644
固定資産合計	11,619	11,118
資産合計	48,668	48,187

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (平成27年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (平成27年12月31日)
<b>負債の部</b>		
流動負債		
支払手形及び買掛金	11,501	11,266
1年内返済予定の長期借入金	769	769
未払法人税等	163	226
引当金	322	236
その他	2,320	1,835
流動負債合計	15,076	14,333
固定負債		
長期借入金	1,836	1,281
退職給付に係る負債	3,269	3,270
その他	493	378
固定負債合計	5,599	4,930
負債合計	20,676	19,263
<b>純資産の部</b>		
株主資本		
資本金	5,362	5,362
資本剰余金	5,478	5,478
利益剰余金	17,149	18,303
自己株式	△1,109	△1,109
株主資本合計	26,881	28,034
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	380	372
為替換算調整勘定	765	494
退職給付に係る調整累計額	△111	△76
その他の包括利益累計額合計	1,035	790
新株予約権	75	98
純資産合計	27,991	28,923
負債純資産合計	48,668	48,187

## (2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

(四半期連結損益計算書)

(第3四半期連結累計期間)

(単位：百万円)

	前第3四半期連結累計期間 (自平成26年4月1日 至平成26年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自平成27年4月1日 至平成27年12月31日)
売上高	26,608	29,205
売上原価	18,825	20,295
売上総利益	7,782	8,910
販売費及び一般管理費	5,852	6,528
営業利益	1,930	2,382
営業外収益		
受取利息	10	5
受取配当金	16	18
為替差益	861	—
その他	178	146
営業外収益合計	1,066	170
営業外費用		
支払利息	10	8
為替差損	—	333
その他	10	18
営業外費用合計	20	360
経常利益	2,976	2,192
特別利益		
退職給付制度終了益	99	—
特別利益合計	99	—
特別損失		
子会社清算損	79	—
特別損失合計	79	—
税金等調整前四半期純利益	2,996	2,192
法人税等	408	619
四半期純利益	2,587	1,572
親会社株主に帰属する四半期純利益	2,587	1,572

(四半期連結包括利益計算書)

(第3四半期連結累計期間)

(単位：百万円)

	前第3四半期連結累計期間 (自平成26年4月1日 至平成26年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自平成27年4月1日 至平成27年12月31日)
四半期純利益	2,587	1,572
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	121	△8
為替換算調整勘定	462	△271
退職給付に係る調整額	133	34
その他の包括利益合計	717	△244
四半期包括利益	3,305	1,327
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	3,305	1,327

## (3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(セグメント情報等)

## 【セグメント情報】

I 前第3四半期連結累計期間(自平成26年4月1日至平成26年12月31日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益の金額に関する情報

(単位:百万円)

	報告セグメント			合計
	日本	アメリカ地域	アジア地域	
売上高				
外部顧客への売上高	13,917	6,230	6,459	26,608
セグメント間の内部売上高 又は振替高	10,051	6	3,597	13,655
計	23,969	6,236	10,057	40,263
セグメント利益	1,591	393	146	2,131

2. 報告セグメントの利益の金額の合計額と四半期連結損益計算書計上額との差額及び当該差額の主な内容(差異調整に関する事項)

(単位:百万円)

利益	金額
報告セグメント計	2,131
セグメント間取引消去	△200
四半期連結損益計算書の営業利益	1,930

3. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

該当事項はありません。

## Ⅱ 当第3四半期連結累計期間(自平成27年4月1日至平成27年12月31日)

## 1. 報告セグメントごとの売上高及び利益の金額に関する情報

(単位:百万円)

	報告セグメント			合計
	日本	アメリカ地域	アジア地域	
売上高				
外部顧客への売上高	14,183	7,255	7,767	29,205
セグメント間の内部売上高 又は振替高	12,070	8	4,549	16,628
計	26,253	7,264	12,316	45,833
セグメント利益	1,908	580	120	2,609

## 2. 報告セグメントの利益の金額の合計額と四半期連結損益計算書計上額との差額及び当該差額の主な内容(差異調整に関する事項)

(単位:百万円)

利益	金額
報告セグメント計	2,609
セグメント間取引消去	△227
四半期連結損益計算書の営業利益	2,382

## 3. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

該当事項はありません。